

事務事業評価シート（1/2）

1頁
平成30年 8月 7日
17時13分24秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502010 水道工務課工務係
事務事業 02372 区画整理区域内配水管布設事業

所属長名 早水 義朗
担当者 石川 一成
電話番号 05666-71-2250

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画		
5Kの分類	003 経済		
項目（施策）	004 10都市基盤（市街地）		
施策の方針	002 都市拠点（JR安城駅周辺）の整備促進		
事務事業	007 区画整理区域内配水管布設事業		
事業期間	昭和63年度～平成38年度	39年間	
実施方法	全部委託		
会計区分	水道事業	事業区分	政策的
健全事業		マニフェスト	性質別費目
根拠法令等	水道法		
備考			

【事業分析】

対象	区画整理区域内の水道利用者
目的	生活に欠かせない水道施設を整備し、安全安心・快適な住環境を提供します。なお、配水管には、耐震管（本管、取出し管）を採用し、安全な住環境の街づくりに心掛けます。
手段	区画整理事業に併せて配水管工事をを行います。
事務内容	布設工事の計画・設計・監督、道水路管理者・公安委員会等との協議及び他の占用事業者等との調整を行います

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	75,524	72,905
事業費	0	69,224	66,353
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	69,224	66,353
一般財源	0	0	0
人件費計	0	6,300	6,552
正規（人）	0.00	1.00	1.04
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		桜井区画 整備実績延長 1,493m 南明治 整備実績延長 153m	桜井区画 予定整備延長 1,550m 南明治 予定整備延長 1,260m

事務事業評価シート (2/2)

2頁
平成30年 8月 7日
17時13分24秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502010 水道工務課工務係
事務事業 02372 区画整理区域内配水管布設事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
区画整理区域内配水管整備率（桜井地区）	%	0.00	85.30	89.30
		0.00	84.50	0.00
区画整理区域内配水管整備率（南明治第1地区・南明治第2地区）	%	0.00	48.10	61.90
		0.00	48.90	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市が行うべきサービスです		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	水道はライフラインであるため必要です		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	予定どおりの進捗です		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	道路工事と同調施工し、経費の削減を行っています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体でも、水道管には、耐震管を採用しています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	区画整理事業による街づくりには、良質な水の安定供給及び耐震管を使った配水管布設事業が必要と考えます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502010 水道工務課工務係
事務事業 02373 地震防災施設緊急整備事業

所属長名 早水 義朗
担当者 石川 一成
電話番号 0566-71-2250

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004 きずな			
項目（施策）	001 1.1 防災・減災			
施策の方針	004 上下水道の耐震化			
事務事業	004 地震防災施設緊急整備事業			
事業期間	平成11年度～平成42年度	32年間		
実施方法	全部委託			
会計区分	水道事業	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト	○	地方創生
根拠法令等	水道法、大規模地震対策特別措置法			
備考				

【事業分析】

対象	水道利用者
目的	災害時においても安定した水の供給をすることを目的としています。
手段	5つの体系の内、費用対効果の高い事業を優先して実施します。管路の耐震化においては、県負担金など補助金を活用して整備します。
事務内容	平成14年4月に安城市が「地震防災対策強化地域」に指定されたことを受け、地震対策に重点を置いた、より災害に強く、信頼性の高い水道施設の整備に努めています。水道施設を5つの体系に分類して整備します。（1 基幹施設の耐震化、2 管路の耐震化、3 バックアップ対策、4 復旧対策、5 その他（施設の耐震化による設備の維持補修）

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	352,819	836,542
事業費	0	340,849	824,824
国庫支出金	0	56,595	50,000
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	284,254	774,824
一般財源	0	0	0
人件費計	0	11,970	11,718
正規（人）	0.00	1.90	1.86
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		<ul style="list-style-type: none"> 重要管路整備 L=1,547m 北部浄水場新着水井及び薬品混和池築造（鉄筋CO造 地上1階、地下1階）H29～H30継続費 	<ul style="list-style-type: none"> 新着水井及び薬品混和池築造（H29～H30継続費） 重要管路整備工事 L=1,038m 重要管路実施設計 5号ろ過機実施設計 南部浄水場バイパス管実施設計

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502010 水道工務課工務係
事務事業 02373 地震防災施設緊急整備事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
浄・配水場における耐震化された施設数	%	0.00	62.50	62.50	65.60	0.00	
		0.00	62.50				
重要幹線管路の布設替率	%	0.00	31.80	31.80	36.70	0.00	
		0.00	31.80				

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市が行うべきサービスです			
2	必要性 市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
		2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3	市民ニーズはない又は不明である	
理由	水道ビジョンのアンケートにおいて、市民ニーズはありました			
3	有効性 目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2	目標を下回る進捗状況である	
		3	進捗はかなり遅れている	
理由	目標どおりの進捗です			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	国の補助金を受け事業を進めています			
5	公平性 事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体も上下水道の耐震化方針を示しています			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 水道施設の耐震化を行い、災害に強い街を作るために必要な事業と考えます。
1次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400文字)	

事務事業評価シート（1/2）

5頁
平成30年 8月 7日
17時13分24秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502010 水道工務課工務係
事務事業 02374 水量不足地域配水管布設事業

所属長名 早水 義朗
担当者 石川 一成
電話番号 0566-71-2250

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002 環境			
項目（施策）	002 4都市基盤（住環境）			
施策の方針	003 良好な水環境の実現			
事務事業	043 水量不足地域配水管布設事業			
事業期間	平成4年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	水道事業	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	水道法			
備考				

【事業分析】

対象	水圧・水量の不足する地域の水道利用者
目的	水の安定供給が可能となります。
手段	配水管口径の増径やループ化を行い、水の安定供給に努めます。
事務内容	布設工事の計画・設計・監督、道水路管理者・公安委員会等との協議及び他の占用事業者等との調整を行います

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	13,495	20,630
事業費	0	12,865	20,000
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	12,865	20,000
一般財源	0	0	0
人件費計	0	630	630
正規（人）	0.00	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		水量不足地域が発生した場合に対応	水量不足地域が発生した場合に対応

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502010 水道工務課工務係
事務事業 02374 水量不足地域配水管布設事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
水圧・水量に関する要望箇所の解消	箇所	0.00	1.00	1.00
		0.00	1.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市が行うべきサービスです		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市が行うべきサービスです		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	良好な生活環境の確保に貢献しています		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	予定どおりの進捗です		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体と同様、水量不足解消は一番重要な役割です		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	水量不足地域の解消は、水道法第1条に明記している「清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もつて公衆衛生の向上と生活環境の改善」と言う水道法の目的に寄与しており、水道事業者の根本をなす事業ですので必要と考えます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
平成30年 8月 7日
17時13分51秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502020 水道工務課給水係
事務事業 02375 給水装置設置等申請審査事業

所属長名 早水 義朗
担当者 谷 佳幸
電話番号 0566-71-2250

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002 環境			
項目（施策）	002 4都市基盤（住環境）			
施策の方針	003 良好な水環境の実現			
事務事業	042 給水装置設置等申請審査事業			
事業期間	平成1年度～			
実施方法	直営			
会計区分	水道事業	事業区分	義務的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市水道事業給水条例			
備考				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	新たに水道を開栓し、使用しようとする者等から提出された給水装置新設等申込書を速やかに審査、承認するとともに必要に応じ配水管布設工事を発注し、早期に水道水を給水します。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	75,377	106,500
事業費	0	55,217	86,340
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	55,217	86,340
一般財源	0	0	0
人件費計	0	20,160	20,160
正規（人）	0.00	3.20	3.20
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		給水装置新設等申込書の審査・承認 161 1件 配水管布設工事の発注 42件	給水装置新設等申込書の審査・承認 配水管布設工事の発注

事務事業評価シート (2/2)

2頁
平成30年 8月 7日
17時13分51秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502020 水道工務課給水係
事務事業 02375 給水装置設置等申請審査事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	建物の新築、改築等に必ず必要になる申請です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	速やかに承認するよう審査に要する日数を管理しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体と比較して適正と思われます。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	安全な飲料水の供給が出来るよう審査を行う必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
平成30年 8月 7日
17時13分51秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502020 水道工務課給水係
事務事業 02376 専用水道等事業

所属長名 早水 義朗
担当者 谷 佳幸
電話番号 0566-71-2250

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）		
施策の方針	003	良好な水環境の実現		
事務事業	041	専用水道等事業		
事業期間	平成25年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	水道法施行細則、水道施設等維持管理指導要領			
備考				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	専用水道・簡易専用水道に係る申請・届出書類の確認、立入検査および検査結果報告の徴収など、専用水道・簡易専用水道設置者に対する指導を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	3,227	3,349
事業費	0	77	199
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	77	199
一般財源	0	0	0
人件費計	0	3,150	3,150
正規（人）	0.00	0.50	0.50
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		専用水道の立入検査 4件 簡易専用水道の検査結果報告の徴収 286件	専用水道の立入検査及び指導 簡易専用水道の検査結果報告の徴収および指導

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502020 水道工務課給水係
事務事業 02376 専用水道等事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	対象が大規模施設になりますが、今後も増えて行くと思われます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	毎年、不適施設に対し指導等を行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体と比較して適正と思われます。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	水道施設等の適正な維持管理について指導することにより、衛生的で安全な飲料水を確保する必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
平成30年 8月 7日
17時14分21秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502030 水道工務課維持係
事務事業 02377 他事業に関連する配水管布設替事業

所属長名 早水 義朗
担当者 都築 博幸
電話番号 0566-71-2250

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）		
施策の方針	003	良好な水環境の実現		
事務事業	040	他事業に関連する配水管布設替事業		
事業期間	平成1年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	水道事業	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	水道法			
備考				

【事業分析】

対象	地域住民
目的	合理的な工事により、工事の通行規制による不便を軽減させる。
手段	道路整備工事および下水道工事などの工事と同調して上水道配水管の布設替えを行い、道路の掘り返しを減らすことで、工事における通行規制の期間を短縮し地域住民の不便を軽減します。
事務内容	布設替工事の計画・設計・監督、道水路管理者・公安委員会等と協議および他の占用事業者等との調整を行いません。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	219,395	349,628
事業費	0	207,740	335,642
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	207,740	335,642
一般財源	0	0	0
人件費計	0	11,655	13,986
正規（人）	0.00	1.85	2.22
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		他事業関連配水管布設替工事 整備件数：11件 下水道事業関連配水管布設替工事 整備件数：5件	他事業関連配水管布設替工事 予定件数：9件 下水道事業関連配水管布設替工事 予定件数：7件

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502030 水道工務課維持係
事務事業 02377 他事業に関連する配水管布設替事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
整備率（工事発注件数 ÷工事整備計画件数）	%	0.00 0.00	100.00 114.30	100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	水道事業は水道法に基づき市町村が経営するものです		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	他事業と同調施工することで通行規制など不便の軽減が図られます		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	水道配水管の移設による布設替工事が予定どおり完了できました		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	布設替による耐震化の向上や舗装費用のコスト削減が図られます		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の水道事業者も同様に行っています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	土木事業や下水道事業等が円滑に行うことができ、他の事業と同調して布設替を行うことにより舗装費用等のコスト削減が図られ、水道配水管の耐震化が向上しますので、今後も継続的に他事業に関連する配水管の布設替事業に取り組んでいくことが必要です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
平成30年 8月 7日
17時14分21秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502030 水道工務課維持係
事務事業 02378 配水管維持管理事業

所属長名 早水 義朗
担当者 都築 博幸
電話番号 0566-71-2250

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002 環境			
項目（施策）	002 4都市基盤（住環境）			
施策の方針	003 良好な水環境の実現			
事務事業	039 配水管維持管理事業			
事業期間	昭和30年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	水道事業	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	水道法			
備考				

【事業分析】

対象	上水道利用者が
目的	安定した水道水の供給を受けられるようになる
手段	職員による巡視及び点検や市民からの通報によって発見した漏水を速やかに修理します。また、定期的な水質調査を行うことにより、安全で安心な水道水の安定供給を図ります。
事務内容	上水道配水管の漏水修理、水質調査、工事立会い、水道メーターの交換作業を行ないます。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	77,508	90,837
事業費	0	33,723	47,052
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	33,723	47,052
一般財源	0	0	0
人件費計	0	43,785	43,785
正規（人）	0.00	6.95	6.95
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		漏水等修理 作業件数：925件 点検・調査・立会い 作業件数：901件	漏水等修理 見込み件数：925件 点検・調査・立会い 見込み件数：901件 ※件数はH29実績

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502030 水道工務課維持係
事務事業 02378 配水管維持管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
作業件数	件	0.00 0.00	2,566.00 1,826.00	1,826.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	水道事業は水道法に基づき市町村が経営するものです		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	水道事業は水道法に基づき市町村が経営するものです		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	安全で安心な水道水の安定供給を図ります		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	水道配水管の耐震化により作業件数は減少しています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の水道事業者もほぼ同様に行っています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	定期的な維持管理、迅速な漏水対応が必要とされますので、規模に対応した直営対応、民間委託による体制を確立しています。平成29年度から水道現業が維持管理課に統合されたことより体制の強化が図られました。今後も継続的に配水管の維持管理事業に取り組んでいくことが必要です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
平成30年 8月 7日
17時14分21秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502030 水道工務課維持係
事務事業 02379 老朽管布設替事業

所属長名 早水 義朗
担当者 都築 博幸
電話番号 0566-71-2250

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）		
施策の方針	003	良好な水環境の実現		
事務事業	038	老朽管布設替事業		
事業期間	平成19年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	水道事業	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	水道法			
備考				

【事業分析】

対象	水道利用者
目的	漏水による断水被害を軽減させる。
手段	老朽化した塩化ビニール製配水管を耐震性の高い高密度ポリエチレン製配水管に布設替し、上水道配水管の漏水事故を減らすとともに、震災時の断水被害を軽減させ、水道水の安定供給を図ります。
事務内容	布設替工事の計画・設計・監督、道水路管理者・公安委員会等と協議および他の占用事業者等との調整を行いません。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	25,831	127,017
事業費	0	23,500	122,355
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	23,500	122,355
一般財源	0	0	0
人件費計	0	2,331	4,662
正規（人）	0.00	0.37	0.74
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		老朽管布設替工事 整備延長：191m	老朽管布設替工事 予定整備延長：915m

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502030 水道工務課維持係
事務事業 02379 老朽管布設替事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
布設替進捗率（布設替更新延長（累計）÷布設替計画延長）	%	0.00 0.00	17.99 17.99	18.40 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	水道事業は水道法に基づき市町村が経営するものです		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	老朽管を耐震管に布設替し断水被害の軽減が図られます		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	老朽管の布設替がほぼ予定どおり完了しました		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	布設替による耐震化の向上が図られます		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の水道事業者も同様に行っています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	引き続き、早期布設替えが完了できるよう計画を検討し、今後も継続的に老朽管の布設替事業に取り組んでいくことが必要です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7頁
平成30年 8月 7日
17時14分22秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502030 水道工務課維持係
事務事業 02380 避難所配水管路耐震化事業

所属長名 早水 義朗
担当者 都築 博幸
電話番号 0566-71-2250

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004 きずな			
項目（施策）	001 1.1 防災・減災			
施策の方針	004 上下水道の耐震化			
事務事業	003 避難所配水管路耐震化事業			
事業期間	平成27年度～平成29年度	3年間		
実施方法	全部委託			
会計区分	水道事業	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト	○	地方創生
根拠法令等	水道法			
備考				

【事業分析】

対象	災害時の避難所利用者
目的	避難所につながる上水道配水管の耐震化を行うことにより、円滑な避難所運営を可能にする。
手段	避難所につながる上水道配水管の塩化ビニール製配水管から耐震性の高い高密度ポリエチレン製配水管に布設替を行ないます。また、上水道配水管の耐震化にあわせ応急給水栓を設置して避難所の利便性を図ります。
事務内容	布設替工事の計画・設計・監督、道水路管理者・公安委員会等と協議および他の占用事業者等との調整を行ないます。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	63,542	30,041
事業費	0	61,211	29,852
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	61,211	29,852
一般財源	0	0	0
人件費計	0	2,331	189
正規（人）	0.00	0.37	0.03
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		避難所配水管路耐震化 工事 整備延長：956m 避難所：2箇所 安城東高校 北中学校	避難所配水管路耐震化 工事 予定整備延長：540m 避難所：1箇所 安城南高校

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502030 水道工務課維持係
事務事業 02380 避難所配水管耐震化事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
整備率（耐震化済避難所数÷耐震化計画避難所数）	%	0.00 0.00	100.00 95.45	100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	水道事業は水道法に基づき市町村が経営するものです		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	災害時に避難所の機能及び水道水の確保を図ります		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	避難所水道配水管の耐震化がほぼ完了しました		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	避難所までの水道配水管が優先的に耐震化される		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の水道事業者も同様に行っています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	3箇所内の、2箇所の避難所水道配水管の耐震化は予定どおり完了しました。1箇所は平成30年6月に完了する予定です。本事業計画の22箇所すべての避難所水道配水管の耐震化が完了となります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

9頁
平成30年 8月 7日
17時14分22秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502030 水道工務課維持係
事務事業 02394 緊急輸送道路配水管耐震化事業

所属長名 早水 義朗
担当者 都築 博幸
電話番号 71-2250

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	001	1 1 防災・減災		
施策の方針	004	上下水道の耐震化		
事務事業	002	緊急輸送道路配水管耐震化事業		
事業期間	平成28年度～平成30年度	3	年間	
実施方法	全部委託			
会計区分	水道事業	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト	○	地方創生
根拠法令等	水道法			
備考				

【事業分析】

対象	災害時の緊急輸送道路利用者
目的	緊急輸送道路に指定された路線の上水道配水管の耐震化を行うことにより、災害時においても円滑な支援物資等の輸送を可能にする。
手段	災害時の緊急輸送道路に指定された路線の塩化ビニール製配水管から耐震性の高い高密度ポリエチレン製配水管に布設替を行い、災害に強いまちづくりをします。
事務内容	布設替工事の計画・設計・監督、道水路管理者・公安委員会等と協議および他の占用事業者等との調整を行いません。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	138,947	118,348
事業費	0	131,954	113,875
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	131,954	113,875
一般財源	0	0	0
人件費計	0	6,993	4,473
正規（人）	0.00	1.11	0.71
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		緊急輸送道路配水管耐震化工事 整備延長：1,972m	緊急輸送道路配水管耐震化工事 予定整備延長：3,221m

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502030 水道工務課維持係
事務事業 02394 緊急輸送道路配水管耐震化事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
整備率（耐震化済延長 ÷耐震化計画延長）	%	0.00 0.00	66.67 41.34	100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	水道事業は水道法に基づき市町村が経営するものです		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	災害時に緊急輸送道路の機能及び水道水の確保を図ります		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	緊急輸送道路内の水道配水管の耐震化がほぼ完了しました		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	緊急輸送道路内の水道配水管が優先的に耐震化される		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の水道事業者も同様に行っています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	4件の内、1件の緊急輸送道路内の水道配水管の耐震化は予定どおり完了しました。3件は平成30年6月までに完了する予定です。本事業は平成30年度までに完了する予定です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
平成30年 8月 7日
17時14分44秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502210 水道工務課浄水管理事務所管理係
事務事業 02392 浄配水場施設運転保守管理事業

所属長名 早水義朗
担当者 鈴木豊明
電話番号 0566-98-7340

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002 環境			
項目（施策）	002 4都市基盤（住環境）			
施策の方針	003 良好な水環境の実現			
事務事業	036 浄配水場施設運転保守管理事業			
事業期間	昭和31年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	水道事業	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	水道法			
備考	事務事業の見直しにより、以下の事業を統合しています。 ・施設運転管理事務 ・施設保守管理事業 ・浄・配水場施設を活用した発電事業 ・原水及び県水受水事業 ・浄水及び配水事業			

【事業分析】

対象	水道利用者が
目的	いつでも、安全で安心な水道水を利用できることを目的としています。
手段	取水、受水、浄水、配水施設を運転し、自己水（井戸水）の取水量及び県営水道の受水量、自己水（井戸水）の浄水量、配水量を調整しつつ市内に配水します。さらに、これらの施設に必要な電力、燃料及び薬品の管理並びに施設の維持管理のための保守点検及び更新工事等を計画的に実施します。
事務内容	県営水道の受水計画及び自己水源からの取水計画の策定、計画に基づく取水及び配水等の水量の管理、浄配水場施設（太陽光、小水力発電施設含む）の操作及び監視、使用電力量の管理、水道用薬品及び燃料の調達、浄水工程で発生する廃棄物の管理、浄水工程毎の水質確認、各施設の保守点検及び更新等施設の管理等

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	1,443,609	1,668,831
事業費	0	1,403,604	1,628,511
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	1,403,604	1,628,511
一般財源	0	0	0
人件費計	0	40,005	40,320
正規（人）	0.00	6.35	6.40
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		・浄配水場施設運転監視及び取水、受水、浄水及び配水量管理 ・発電設備の運転管理 ・薬品、燃料及び電力調達事務 ・水道施設の保守点検及び更新工事 ・翌年度の取水及び受水計画の作成	・浄配水場施設運転監視及び取水、受水、浄水及び配水量管理 ・発電設備の運転管理 ・薬品、燃料及び電力調達事務 ・水道施設の保守点検及び更新工事 ・翌年度の取水及び受水計画の作成

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502210 水道工務課浄水管理事務所管理係
事務事業 02392 浄配水場施設運転保守管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
浄水及び受水不能事故発生件数（自然災害除く）	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
給水停止を伴う設備故障	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
年間取水受水量に占める自己水率	%	0.00 0.00	30.00 29.90	30.00 0.00
年間発電（売電）量（太陽光、小水力発電）	kWh	0.00 0.00	480,000.00 522,913.00	490,000.00 0.00

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	水道事業は水道法に基づき行っており、他の団体ではできません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	水道は、人が生活していく上で最も重要なライフラインです。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	自己水率が僅かに下回ったものの、ほぼ目標達成しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	機能不全前に予防保全を行うことで、設備事故無しになりました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の水道事業体も無事故を目標に同等の業務を行っています。		

【1次評価結果】	
事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	<p>浄配水場の安全性を維持するため、施設の点検を効果的かつタイムリーに実施することが必要です。設備の保守管理は、定期点検の結果を受け予防保全に努めますが、保守管理費と更新費用を比較し、適正な更新時期を計画に反映する必要があります。</p> <p>県水の受水については、自己水源を最大限取水し、不足分を県水の受水で補うものとする事で、県水受水に係る費用の削減を図ることが、必要です。自己水源は、安全で安定した取水量を確保するために、水質及び水量の観測並びに維持管理等を適正に実施していくことが必要です。</p>

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
平成30年 8月 7日
17時14分44秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502210 水道工務課浄水管理事務所管理係
事務事業 02393 浄配水場水質検査等事務

所属長名 早水義朗
担当者 鈴木豊明
電話番号 0566-98-7340

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）			
施策の方針	003	良好な水環境の実現			
事務事業	035	浄配水場水質検査等事務			
事業期間	昭和34年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	水道事業	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	水道法施行規則				
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	水道法に義務付けられている水質検査計画の作成、計画に基づく水源及び末端給水栓等の水質検査、水質検査の外部委託（直営でできない項目）、市民の方から寄せられる水道水質相談対応等

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	24,327	29,788
事業費	0	13,704	19,381
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	12,846	18,424
一般財源	0	858	957
人件費計	0	9,765	9,450
正規（人）	0.00	1.55	1.50
その他経費	0	858	957

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の水質検査結果の集計及び翌年度の水質検査計画の作成（HP掲載） ・水質検査（毎日・定期） ・水質検査機器の日常点検 ・水質検査技術力向上のためのスキルアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の水質検査結果の集計及び翌年度の水質検査計画の作成（HP掲載） ・水質検査（毎日・定期） ・水質検査機器の日常点検 ・水質検査技術力向上のためのスキルアップ

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001502210 水道工務課浄水管理事務所管理係
事務事業 02393 浄配水場水質検査等事務

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	民間委託では、水道水の水質相談時に迅速な対応ができかねます。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	水道水の水質を心配される相談があり、対応しています。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	採水方法を改善し、採水時間の短縮を図っています。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の水道事業体の水質検査部門も自身で検査を実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	常時、衛生的で安全な水道水を供給し、水道利用者に安心して飲んでいただくため、水道法に定められた水質検査を水質検査計画に基づき実施してまいります。また、検査結果については、市のウェブサイトにて年1回公表し安全性をPRしていますが、更なる活動も行っていく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。